

この地信州天龍峡は、天龍川の清流によって侵蝕襲摩された景勝地であり、天龍奥三河国定公園に指定されています。

弘化4年(1847)の昔、岡山の漢学者 さかたに ろう ろ 阪谷朗廬により「天龍峡」と命名されました。

その後、明治15年、書聖と仰がれた書道家 く さか べ めい かく 日下部鳴鶴が来峡し「十勝」が選ばれ、鳴鶴の自筆書によりそれぞれ奇岩に文字が刻まれています。そのほとんどは、川下りの船上から眺望が出来ます。

天龍峡「十勝」のご案内

- | | |
|---------------------------------------|---|
| <small>こ や きょう</small>
姑射橋 (太田橋) | 中国古代の「莊子」に記されている不老不死の神仙郷 <small>は こ や</small> 藐姑射山にちなんで命名された。 |
| <small>き よう がい</small>
歸鷹崖 (鷹待岩) | 鷹の帰って来る崖・仙郷に住む仙人が鷹狩りをした際の岩であるとされている。 |
| <small>う ぼう せき</small>
烏帽石 (えぼし岩) | 仙人がこの幽峡で酒宴をし酔って <small>え ぼ し</small> 烏帽子を忘れ去ったところから出現した岩である。 |
| <small>けい けい たん</small>
炯々潭 (てらが淵) | この崖下の深淵には巨龍が棲み、水底より炯々と光る龍の眼光が見られたところ。 |
| <small>よく かく がん</small>
浴鶴巖 (つるしね) | 水面で鶴の群が、その縞模様の羽を美しく水浴させていたところから命名された。 |
| <small>りゅう かく ほう</small>
龍角峯 (花立岩) | 天龍川の深淵に住む龍が、ある時天に昇った時、その崖に突然出来た「龍の化身」と伝えられている。 |
| <small>ふ よう どう</small>
芙蓉峯 (富士の巻狩) | 岩面に白い縞模様があり、富士山と富士の巻狩り場面の絵図が偲ばれたところから命名。 |
| <small>しゅう ぶ どう</small>
樵廡洞 (ひさし岩) | ひさし状に岩が突き出て、仙人や樵人が雨露をしのいだとされる洞状の岩である。 |
| <small>せん じょう ばん</small>
仙牀磐 (千畳敷) | 仙人たちが、不老不死の金丹を練った場所と伝えられる千畳敷の岩である。 |
| <small>すい かん き</small>
垂竿磯 (さぶり) | 仙人が、苔むした岩に腰をおろし、好んで釣糸をたれたとされている。 |